

平成 29 年度課題改善カリキュラム(平成 29 年度作成)

国語 小中学校で大事にしたいこと 文字を正しく丁寧に書く力を育てる。

		重点目標 (育成したい力)	重点を置く単元 ・領域・活動	具体的な取組
小学校	低学年	文字に興味をもちながら、正しく丁寧に書く。	ひらがなあつまれ かたかなのかたち かん字のはなし 書写：言語事項中心 同じぶぶんをもつかん字	<ul style="list-style-type: none"> 文字を書くときの姿勢を意識させる。 えんぴつを正しく持つことを定着させる。 ひらがな かたかな 点画の長短や方向、接し方、交わり方などに注意して正しく書く。
	中学年	組立てや成り立ちに気を付けて正しく丁寧に書く。	3年：へんとつくり 漢字の組み立て 書写：部分の組み立て方	<ul style="list-style-type: none"> へんとつくりの大まかな意味を表すこと。 へんとつくりに着目して漢字を集める。 へんとつくりについて知り、それぞれの部分のもつ意味を考える。 漢字の組み立て方に気を付けて字形を整えて書く。
	高学年	書く速さを意識して正しく丁寧に書く。	5年：漢字の成り立ち、使い方、複合語など 6年：漢字の形と音、意味熟語の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の意味を辞典などで調べ、クイズ作りをする。 自分の文字と手本と比べる。 相手・目的に合わせて書く機会を多くする。 漢字のよみ方と新出漢字での筆順に注意する。
中学校	文字のバランスに気を付けて、速く正しく丁寧に書く。	書写：硬筆	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名、漢字の成り立ちを理解させる。 字形を整える、筆順を理解させる。 小グループでの評価を取り入れる。 	

社会 小中学校で大事にしたいこと 資料を活用し、表現力を育てる。

		重点目標 (育成したい力)	重点を置く単元 ・領域・活動	具体的な取組
小学校	低学年			
	中学年	一つの資料を多面的な角度から読み取る力。	わたしたちの東京都	<ul style="list-style-type: none"> 4枚の地図を読み取り、比べてまとめる。 東京都の地形、等高線を読み取る。
	高学年	複数の資料を比較しながら考察する力。	私たちの国土 6つの地域の比較	<ul style="list-style-type: none"> 6つの地域を比較しながら雨温図と等高線を読み取る。 練馬区の雨温図や等高線と比較する。
中学校	様々な情報を選択活用し、社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに発表できる力。	世界から見た日本のすがた 身近な地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> 6つの地域を比較しながら雨温図を読み取る。 世界と比べた地形・気候の特色を地図や雨温図から読み取る。 地形図を用いた練馬区の調査を行う。 新旧地形図を比較して、地域の変化を読み取る。 	

算数・数学 小中学校で大事にしたいこと 計算の意味指導を充実させ、計算力を高める。

		重点目標 (育成したい力)	重点を置く単元 ・領域・活動	具体的な取組
小学校	低学年	整数の加法・減法・乗法の計算ができるようにする。	たしざん ひきざん かけざん	・1位数どうしの加法・減法・乗法の仕方を操作を通して考え、確実に理解させる。
	中学年	整数の除法の計算について理解し、確実にできるようにする。	わり算	・数の大きさに着目して、商を見付けていくことができるようにさせる。
	高学年	小数および分数の加減乗除の計算ができるようにする。	分数のたし算ひき算 分数のかけ算わり算	・数直線図や文字などを用いて式を表現させる。 ・xやyなどの文字を用いて式を表現させる。
中学校	正負の四則計算ができるようにする。	正の数負の数	・負の数の概念と四則計算の考え方を理解させる。 ・計算処理として減法から反対の符号の加法になることを理解させる。	

理科 小中学校で大事にしたいこと 実験・観察を充実させて、科学的思考力や表現力を育てる。

		重点目標 (育成したい力)	重点を置く単元 ・領域・活動	具体的な取組
小学校	低学年	生活科：実験・観察の視点を持って、体験や活動をする。	あきとあそぼう (1年) つくってためして (2年)	・秋の自然物で工作し、素材の特性を生かす。 ・計画を立て、試行錯誤を重ねて作品をよりよいものに仕上げる。
	中学年	実験・観察に比較する視点を加え、科学的な原理や法則に結び付ける。	風やゴムのはたらきを しらべよう (3年) とじこめた空気や水 (4年)	・ゴムで動く車を作り、コントロールさせることを意識させる。 ・空気でっぽうを使って、空気の粒子(小さくてみえないもの)をイメージさせる。
	高学年	実験・観察をまとめ、表現する。	電磁石の性質 (5年) 電気の性質とはたらき (6年)	・電磁石を強くするための方法を考え、まとめる。 ・電気をため、作る活動を通して、これまでの考察をまとめる。
中学校	興味関心を高め、科学的な原理や法則を考え、表現する。	いろいろな力の世界 (1年) 電気の世界(電流と磁界) (2年) 運動とエネルギー (3年)	・日常のいろいろな力の働きを調べ、ばねと力の関係(フックの法則)や、浮力について考え考察させる。 ・電磁石の原理を実験から考察させる。 ・転がる物体の運動を通して、力と運動の関係を理解させる。	

音楽 小中学校で大事にしたいこと 表現活動を通じて、音楽を楽しむ心を育てる。

		重点目標 (育成したい力)	重点を置く単元 ・領域・活動	具体的な取組
小学校	低学年	自分の歌声や発音に気を付けて歌うこと。	斉唱	・自分の歌声や発音に気を付けて歌う。 ・自分の声や友達の声聴きながら、斉唱、輪唱する。
	中学年	呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌う方で歌うこと。	斉唱 部分2部合唱	・呼吸や発音に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない、歌い方で歌う。 ・自分の声と友達の声と合わせて合唱する。
	高学年	呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うこと。	合唱	・呼吸や発音に気を付けて、曲想にふさわしい自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う。 ・自分の声を友達の声と調和させて合唱する。
中学校	楽曲の構成を理解し、自分たちで音楽を作り上げる。	混声4部合唱	・作詞家、作曲家の思いや意図、楽曲の構成を理解し、自分たちで表現を工夫し、どのように歌うかについて、自分の考えや願いをもてるように、混声3部合唱から指導する。	

図工・美術 小中学校で大事にしたいこと 自分で考える力を大切にし、表現する喜びを味わう。

		重点目標 (育成したい力)	重点を置く単元 ・領域・活動	具体的な取組
小学校	低学年	図画工作を学ぶ上での基本姿勢を身に付ける。	紙版画	・集団で制作する上でのルールを学ぶ。
	中学年	作ることの楽しみを味わう。	孔版画	・ステンシルによる新しい表現方法を学ぶ。
	高学年	教具の基本的な扱い方を学ぶ。	木版画	・三角刀、丸刀を使った線彫りを学ぶ。
中学校		教具の応用を学ぶ。	木彫	・平刀、切り出し刀を使用した薬研彫り、ひし合い彫り、それぞれの彫り方を学ぶ。

体育・保健体育 小中学校で大事にしたいこと 自己の運動の課題を見つけ、課題解決方法を考えていく。

		重点目標 (育成したい力)	重点を置く単元 ・領域・活動	具体的な取組
小学校	低学年	親しんで気付き、考えて動く。	器械運動	・動き方を知り、友達のよい動きを見付けること。 ・行い方を知り、楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選ぶこと。
	中学年	課題を見付け、つかみ、考えて動く。	器械運動	・練習方法を知り、自分の力に応じた練習方法や場を選ぶこと。 ・動き方やポイントを知り、自分の力に合った課題を選ぶこと。
	高学年	解決する方法を知り、考えて動く。	器械運動	・課題解決の仕方を知り、自分の課題に応じた練習の場や段階を選ぶこと。
中学校		1・2年：課題に応じた運動を工夫し、考えて動く。 3年：自己の課題に応じた運動を工夫して考えて動く。	器械運動	1・2年：器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 3年：技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

家庭・技術・家庭 小中学校で大事にしたいこと 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。

		重点目標 (育成したい力)	重点を置く単元 ・領域・活動	具体的な取組
小学校	低学年			
	中学年			
	高学年	身の回りのことを自分でできる力。	日常の食事と調理の基礎	・栄養について ・1食分の調理・献立作成 ・調理器具の使い方
中学校		生活に必要な基礎的・基本的な知識および技術を習得させる。	家庭：食生活と自立 技術：生物の育成に関する技術	・小学校で学習したことを踏まえ、実習へつなげる。 ・1日分の調理・献立作成 ・栄養と健康、食生活 ・地域の食文化について

外国語活動・英語 小中学校で大事にしたいこと 外国語を通したコミュニケーション能力の育成を図る。

		重点目標 (育成したい力)	重点を置く単元 ・領域・活動	具体的な取組
小学校	低学年			
	中学年			
	高学年	コミュニケーションの素地を培う。 常に次のステップを意識させる。	“Hi, friends!①” Lesson2 I’ m ~. Lesson7 What’ s this? “Hi, friends!②” Lesson6 What time ~?	・歌やゲーム、クイズなどのアクティビティを通して、英語表現に慣れ親しむ。 (インタビュービンゴ、スポットディクテーション、陣取りゲーム、ポイントティングゲームなど)
中学校		書く指導を確実に行う。 達成感を味わわせる指導を行う。 学力差に応じた指導を行う。	疑問詞を使った疑問文 (What time ~? 等)	・小学校で慣れ親しんだ英語表現の定着を図り、実際に使えるようにする。 ・小学校のときにインプットした知識を文字と結び付けていく。

養護

小中学校で大事にしたいこと 児童生徒に関する情報交換を行う。

	項目	具体的な取組
小 中 共 通	児童・生徒の情報交換	大泉学園小学校と大泉学園緑小学校から大泉学園中学校に進学した生徒の情報交換
	スマホやネットについて	<ul style="list-style-type: none"> ・子供のスマホ等の利用状況と問題点 ・ネット依存について
	アレルギー疾患への対応	面談をどのように実施するか。 除去食をどこまで対応するか。 アレルギー源の追加・削除の方法。
	保健に関する情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚検査について ・感染症対策について ・怪我に関する情報交換
	関係者との連携について	スクールカウンセラーと心のふれあい相談員との連携